

崇元寺遺構展示ジオラマ制作業務委託に係る特記仕様書

1. 模型設計業務

(1) 図面作成

- ① 本市より崇元寺跡の遺構についての資料及び崇元寺建物の資料を提供する。
- ② 提供する資料を用い、屋外遺構模型及び屋外建物復元模型の製作図面を作成すること。
- ③ 作成した図面は、本市の監督員の指示を仰ぎ、修正指示等があった場合は、速やかに修正し、再度、監督員の検査を受け、承認をもって完成とする。

(2) その他作業

- ① 遺構表面等、仕上がりを確認する必要がある個所については、設計時に部分サンプルを製作して監督員の承認を得ること。
- ② サンプルの必要な個所については、協議の上決定する。

2. 崇元寺遺構立体模型(ジオラマ)製作

(1) 模型概要

- ① 模型寸法 W4000×D4000×H300 (ハウジング含む)
- ② 縮尺 100%スケール
- ③ 水平垂直 1:1
- ④ 材質 FRP 製

(2) 製作工程 (遺構立体模型原型製作)

- ① 監督員より支給する指定範囲地図 (測量図・写真等) 及び製作図面を用いて模型縮尺に直した遺構の原型を製作すること。
- ② 原型製作においては、発泡スチロール等、造形に適した素材を加工して製作すること。
- ③ 詳細形状は監督員の指示に基づき、必要に応じて詳細形状を成型して整え、表面下地処理を行うこと。
- ④ 成型後、速やかに監督員の検査を受け、承認をもって完成とすること。
- ⑤ 検査時に監督員より是正個所の指摘があった場合は、速やかに是正作業を行い、再度検査を受け承認をもらうこと。

(3) 製作工程 (型取り) (FRP 成型)

- ① 遺構模型原形をシリコンゴムで型取りし、凹型を製作すること。
- ② 凹型は振れ防止の為に FRP による補強材にて養生を行うこと。

(4) 製作工程 (FRP 成型)

- ① FRP 成型は凹型内へグルコート(樹脂)を塗布後、ガラスマット(#450)3 プライとグルコートプラスロービングクロス等を用いて製品に厚みを持たせること。
- ② 成型した FRP 地形は、成型時のバリなどを削り、表面を整えること。
- ③ 裏打ち後、補強用リブ(H100)を模型内部に施し、模型の強度を確保する措置を行うこと。
- ④ FRP 遺構の凹部など雨水のたまりやすい場所には、φ10 程度の水抜き穴を設けること。

(5) 製作工程 (彩色仕上作業)

- ① 市の提供する写真及び指示にて模型表面の彩色仕上げ作業を行うこと。
- ② 塗装面は脱脂清掃を行った上で下塗りサフェーサー噴霧後、ウレタン樹脂塗料にて下地の着色を行うこと。
- ③ 表面に屋外用の水性塗料を用いて、遺構の質感を伴う彩色作業を施すこと。
- ④ 彩色作業終了後、速やかに監督員の検査を受け、承認をもって完成とすること。
- ⑤ 検査時に監督員より是正個所の指摘があった場合は、速やかにこれに対処し、再度検査を受け承認をもらうこと。
- ⑥ 彩色作業後、表面保護のためトップコート(ウレタンクリヤー)を噴霧すること。

(6) 製作工程 (結界製作)

- ① 遺構模型の周りに取り付ける結界を製作する。
- ② 結界の高さは、トップが GL より 700 mm位になるように設定する。
- ③ 結界の支柱及び鎖などは、ステンレス若しくはそれに準じた素材を使用すること。
- ④ 結界の素材及びデザイン等は、設計時に図面にて示し、監督員の承認をもって製作すること。

(7) 製作工程 (タイトル銘板)

- ① 遺構模型のタイトル銘板としてステンレス板にエッチング文字色入れしたネームプレート 1 点を製作すること。
- ② タイトル銘板の内容、寸法については、監督員と協議の上決定し、そのデータ作成、校正作業を行うこと。
- ③ タイトル銘板の設置場所は、監督員の指示に従い設置すること。

3. 崇元寺伽藍建物復元立体模型(ジオラマ)

(1) 模型概要

- ① 模型寸法 (模型部) \approx W500×D500×H100
(ハウジング部) W600×D600×H700
- ② 縮尺 1/150 スケール
- ③ 水平垂直 1 : 1
- ④ 材質 FRP 製

(2) 製作工程

- ① 監督員より支給する指定範囲地図(測量図・写真等)及び製作図面を用いて模型縮尺に直した復元建物模型の原型を製作すること。
- ② 原型製作においては、木材、樹脂板等、造形に適した素材を加工して製作すること。
- ③ 詳細形状は監督員の指示に基づき、必要に応じて詳細形状の確認を行いながら製作すること。
- ④ 原型完成後、速やかに監督員の検査を受け、承認をもって完成とすること。
- ⑤ 検査時に監督員より是正個所の指摘があった場合は、速やかに是正作業を行い、再度検査を受け承認をもらうこと。

(3) 製作工程 (型取り) (FRP 成型)

- ① 復元建物模型原形をシリコンゴムで型取りし、凹型を製作すること。
- ② 凹型は振れ防止の為の FRP による補強材にて養生を行うこと。

(4) 製作工程 (FRP 成型)

- ① FRP 成型は凹型内へ、グルコート(樹脂)を塗布後、ガラスマット(#450)3 プライとグルコートプラスロービングクロス等を用いて製品に厚みを持たせること。
- ② 成型された FRP 建物模型は、成型時のバリなどを削り、表面を整えること。
- ③ 裏打ち後、補強用リブ(H100)を模型内部に施し、模型の強度を確保する措置を行うこと。
- ④ 模型の凹部など雨水のたまりやすい場所には、 ϕ 10 程度の水抜き穴を設けること。

(5) 製作工程 (彩色仕上作業)

- ① 市が提供する写真及び指示にて模型表面の彩色仕上げ作業を行うこと。
- ② 塗装面は脱脂清掃を行った上で下塗りサフェーサー噴霧後、ウレタン樹脂塗料にて下地の着色を行うこと。
- ③ 表面に屋外用の水性塗料を用いて、遺構の質感を伴う彩色作業を施すこと。
- ④ 彩色作業後、速やかに監督員の検査を受け、承認をもって完成とすること。

- ⑤ 検査時に監督員より是正個所の指摘があった場合は、速やかにこれに対処し、再度検査を受け承認をもらうこと。
- ⑥ 彩色作業終了後、表面保護の為にトップコート(ウレタンクリヤー)を噴霧すること。

(6) 製作工程 (タイトル銘板)

- ① 遺構模型のタイトル銘板としてステンレス板にエッチング文字色入れしたネームプレート 1点を製作すること。
- ② タイトル銘板の内容、寸法については、監督員と協議の上決定し、そのデータ作成、校正作業を行うこと。
- ③ タイトル銘板の設置場所は、監督員の指示に従い設置すること。

4. 基礎工事・設置 (遺構模型、建物復元模型、共通)

- ① 製品はコンクリート製基礎へ墨出し、確認を行った上で設置すること。
- ② 設置場所が遺構の直上にあることを考慮し、コンクリート基礎は簡易なものとする。設計時に基礎図にて示すこと。
- ③ 模型製品に分割部分がある場合は、分割部は樹脂成形にて接合を行い、彩色をもって分割面が目立たないような仕上げとすること。
- ④ 模型製品とコンクリート基礎へはコンクリートビスないしアンカーボルトにて固定すること。
- ⑤ 崇元寺遺構立体模型(ジオラマ)の外構に、幅 900 mm程度の通路を設けること。